

多面的機能支払交付金活動組織と郡山市において
「田んぼダム」事業に関する協定を締結しました



13 気候変動に
具体的な対策を

令和3年12月9日

郡山市農林部

農地課

担当：我妻 康一

ターゲット 13.3 TEL：924-3921

SDGs ターゲット 13.3 「気候変動への適応、影響軽減に関する機能を改善する。」

水害による浸水被害の軽減に寄与することを目的として、一時的に雨水を水田に貯留する「田んぼダム」の普及拡大に必要な条件整理及び効果検証に向けた取組みに関して、多面的機能支払交付金活動組織と郡山市とが相互の緊密な連携・協力を図るための協定を締結しました。

- 1 締結日 令和3年11月19日(金)
- 2 相手方 多面的機能支払交付金活動組織「河内故郷つくる会」
- 3 協定の内容
 - (1) 「田んぼダム」による多面的機能(貯留機能)強化・維持管理の支援に関すること
 - (2) 「田んぼダム」による河川下流域における浸水被害軽減の効果確認に関すること
 - (3) 「田んぼダム」普及拡大に配慮すべき条件整理に関すること

<協定締結の経緯等>

流域治水の一環として「田んぼダム」の普及・拡大にあたり配慮すべき条件整理や、取組み面積を拡大したうえでの治水効果検証をする必要があり、調査対象とする水田を耕作する農家からの理解・協力を得るにあたって、農家を中心となり組織される多面的機能支払交付金活動組織と連携することで、広域かつ円滑な調査が可能となることから、今回の協定締結となりました。

<「田んぼダム」設置について>

令和3年11月下旬に市より多面的機能支払交付金活動組織に対して、「田んぼダム」による貯留機能を適切に維持・管理するための資材を支給、現在活動組織による設置作業を実施しており、令和3年12月末までに設置完了を予定しています。

【「田んぼダム」とは】

水田の落水口に水位調整板等を設置し、雨水を一時的に田んぼに貯留させる仕組みの通称。

【多面的機能支払交付金制度とは】

農業や農村が持つ多面的な機能の維持のため、農地、水路や農道等の地域資源の維持管理を行う地域活動等を支援する助成制度。

【農林水産省 HP:https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html】



令和3年度「田んぼダム」事業に関する協定締結の概要

1 趣旨

近年、増加傾向にある集中豪雨に備え、一級河川逢瀬川流域の水田において水田の多面的機能を適切に維持・管理するための支援を行い、一時的に雨水を貯留する「田んぼダム」の機能強化及び普及拡大を通じて、浸水被害の軽減に寄与することを目的に、郡山市と多面的機能支払交付金活動組織の相互の緊密な連携と協力のため協定を締結するもの。

2 協定の相手方

- (1) 組織名称 河内故郷つくる会（こうずふるさとつくるかい）
- (2) 設立年度 平成19年度設立
- (3) 構成員 188名（農業者：101名 非農家：87名）
- (4) 活動対象農地面積 約118ha（水田：100ha 畑：18ha 草地：－）
- (5) 活動対象農業用施設 水路：20.1km 農道：20.0km ため池：2箇所
- (6) 田んぼダム対象農地 水田124枚【約44.0ha】
- (7) 流域河川 阿武隈川水系 一級河川 逢瀬川

3 協定に基づく具体的取組み

- ・市は、「田んぼダム」による水田の多面的機能（貯留機能）を適切に維持・管理するための資材について予算の定める範囲内で支給する。
- ・活動組織は、適切な設置及び管理を行い、「田んぼダム」による多面的機能（貯留機能）の効果発揮に努める。
- ・市と活動組織は、「田んぼダム」に関する効果検証、アンケート調査、普及活動等の「田んぼダム」推進に向けた取組みに関して相互連携・協力する。



排水調整器具
(市から組織へ支給)



排水調整器具の設置
(多面的機能支払交付金事業の活動を通じ組織が設置)



田んぼダム運用
(営農に支障がない範囲で雨水を貯留)

4 組織活動対象区域図



田んぼダム設置方法についての講習会の様子
(令和3年11月21日撮影)



講習会で現場に設置した排水調整器具の状況
(令和3年11月21日撮影)

対象区域（河内故郷つくる会）概略図



5 協定締結後のスケジュール(予定)

